

赤飛行機 Detail up

これだけはやってみよう！

(注)あくまでも参考ですので 時間と技術を考慮し取舍選択してください。

©モンキーパンチ / TMS・NTV

工房こぼし

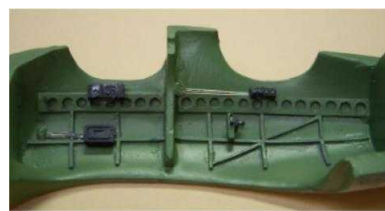
飛行機担当

スケールは 1/48 です。エンジンから 適当に割り出した寸法は 全長7m 幅10m としました。想定エンジンは単列 9気筒BMW132 直径1380mm。
劇中、カットによっては カウリングのイボが7つしかなかったりしています。
設定画には「正しくは 9ヶ」と書かれているし メジャーな7気筒エンジンなんて知らないのでも9気筒にしました。
製作意欲を高める為、着手する前に 新ルパン 145話をじっくり鑑賞しましょう。
ブレダ27の複座にも見えますが 一回り小さくしたRe2000の複座にみえませんか？



コクピット

飛行機モデルの醍醐味、コクピット内の再現です。オープンコクピットなので手の入れ甲斐があります。製作者は図のような加工をしました。フレームは エバーグリーンの角プラ棒、プラ板、真鍮線(0.3~1mm)ジャンク部品で でっち上げています。実際はもっとごちゃごちゃしているのですが オープンコクピットの割には あまり良く見えないので プラ板を 黒く塗った物を ベタベタ貼るだけでも良いかもしれません。



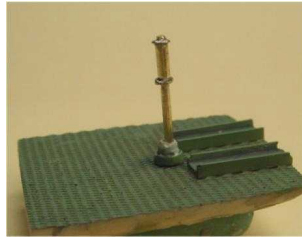
計器板

作例のようにキットの計器板をちょこちょこ塗装しても良いですが、エッチングパーツを流用すれば さらに芸細に見えます。



飛行機に詳しくない方は 世界の傑作機等の 飛行機関連の 資料を参考にしてください。
ラダーペダルは計器板裏へ追加してください。
ラダーペダルが床にあるタイプもありますが レジアーネ系は 計器板の裏から出ているようです。
あっ 言い忘れましたがラダーペダルは 自作願います。

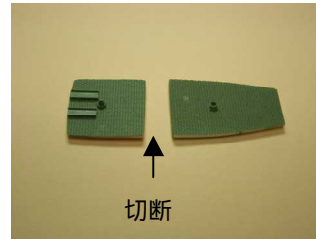
操縦棒:



作者の技術では、このような小さな細い部品は複製してもバリか部品か判断できなくなるのでパーツ化しておりません。ただの棒にグリップらしき加工をすれば簡単にできますので自作をお願いします。作例は 0.8真鍮線と 1.1パイプ、0.2真鍮板の組み合わせで出来ています。

床:

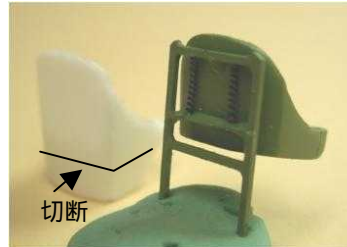
胴体を合わせる時に床板を仕込む構造になっていますが隔壁の場所で切断すれば胴体接合後でも床板を着けられるように出来ます。この場合、床の切断面が見えないよう1.2mmプラ板で隔壁を追加してください。



前席:



椅子にはシートベルトの追加が必要です。作例は手持ちのエッチングパーツを使用しています。椅子は床に直接固定されているのではなくフレームを介して機体に固定されているのが普通だと思います。離着陸時は椅子の高さを調整して視界改善をする と勝手な設定をし、作例ではスプリングをつけたり無駄な努力をしています。しかし後席からはまったく見えなかったため椅子の下部を黒く塗り 背部に角材を追加するだけで良いと思います。



後席:

悩んだ末丸椅子にしてみました。不使用時は跳ね上げるとか勝手に設定し裏にモールドが有りますが絶対見えないのでこれも無駄な努力でした。後部座席のインパネですが劇中の描写が時代に合わないと感じましたので2種類作ってしまいました。左のカーラジのようなのが劇中版のつもりです。



保護パッド:



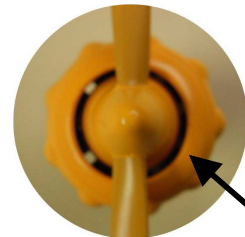
開口部が分厚いのでそれを隠す意味もあり、糸半田で保護パッドを再現してみました。錆びで塗料が浮かないかがちょっと心配です。

エンジン:



製作者の技術の限界でエンジンは作っておりません。市販キットをコピーするのは良心が許しませんでした。どうせよく見えないので省略できると思います。

作例はジャンク箱からの適当な9気筒エンジンを使用しています。BMW132も元をたどればP&Wのホーネットです。この頃の9気筒エンジンなんて皆、同じ(極論)ただしイギリスのペガサス系を使う時は排気管の取り回しに注意してください。自ら苦難の道を選択するならCMKの4053にBMW132その物がありますので流用して満足いくまで加工してください。



ほら、やっぱりよく見えないでしょ？

主翼:



前縁に着陸灯を追加すれば良いアクセントになるんじゃないか と言う訳で左翼前縁に切れ込みを入れてしまいました。型を作ってカバーを絞り出しても良いのですがセロテープを貼るだけでも再現可能です。好みですが動翼操作ロッド追加や、主翼下面に点検用のアクセスパネルを筋掘るのも良いかもしれません。

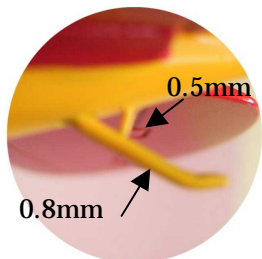
尾翼:

水平尾翼ですが点検口のモールドがある方が一応上面です。独逸機のように取り付け角度を変更するとは思えないのでタブを筋彫り、操作ロッドを追加すべきでしたが、切り間に合わなくなりそうだったので今回はさばりました。

主脚:

荷重がかかる所なので金属線入りで複製しました。主翼との擦り合わせで邪魔になる時はベンチでえいやっと引っ張ればなんとか抜けますので試してみてください。

尾橇:



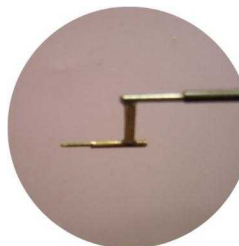
キャストでは ぜってえ強度不足になるので パーツ化しておりません。0.8mmと0.5mm真鍮線での自作をお願いします。

プロペラ:

劇中の描写では固定ピッチのように見えますが、可変ピッチと思いきいのような形にしました。固定ピッチペラにするにはキットのペラを芯にしスピナーまで幅広にしてください。



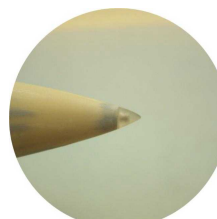
ピトー管:



こんな感じのピトー管を主翼前縁から突き出すのも良いですがベンチュリ管も古臭くて良いと思います。



翼端灯、航法灯:



翼端には翼端灯を透明部品で追加してください。右翼は緑、左翼は赤です。翼端前縁を削り色アクリルで再現するかカバーを絞って内にランプを再現しましょう。作例は Re-2000を真似ました。また旧軍機のようにイヤなのですが胴体後端に尾灯を追加しましょう。これは透明です。

キャノピー:



付属の型を使用して塩ビで絞り出してください。初回特典としてちょっと小さ目ですが塩ビをおまけしています。

塗装:

胴体、カウリングは RLM04、主、尾翼は RLM23、帯は RLM21 です。機体内部 RLM66 といいたい所ですが RLM82 のようです。これだけだと独逸機マニア以外には意味不明な文章ですな。作例は派手に見えるよう

胴体: Mr. Color C4 イエロー 97% + C171 蛍光レッド 3%
翼: Mr. Color C158 スーパーイタリアンレッド
白帯: Mr. Color C1 + C50 クリアブルー 数滴
機体内部: Mr. Color C312 90% + C1 10%
で塗装しています。

その他:

ブースに展示した作例には 鉄道模型用の 金属パーツを 流用しています。
特に エコーモデルの 部品は 安価多種多様でお勧めです。
素人が鉄道模型店を訪れるといきなり専門用語で話かけられ
これに答えられないと 頭から 喰われるとか、パーツを 本来の目的以外に
使用する為 買おうとすると 地下室に 連れ込まれ 拷問にあうなんてのは
根も葉もないいわさです。(鉄っちゃんから 石を 投げられそう...)
怖がらずに 一度 マニアックな鉄道模型の店を 覗いてみる事をお勧めします。
このビッグサイトの近場では 銀座、晴海通り沿いの天賞堂があります。
天賞堂 東京都中央区銀座4-3-9 03-3562-0025
<http://www.tenshodo.co.jp/railroad/index.html>
また 飛行機用デティールアップパーツなら
門前仲町 ピンバイス <http://www1.odn.ne.jp/pinvis/>
新宿、秋葉原 イエローサブマリンでしょうか。

参考資料:

スタジオジブリ絵コンテ全集 第2期

ルパン 世 死の翼 アルバトロス、さらば 愛しきルパンよ

設定画も載っているし、お勧めの本、

DVD LUPIN THE THIRD second tv,DVD Disc25

上記 絵コンテと これさえあれば問題なし。

ベストカップリングコレクション 宮崎駿、大塚康生の世界

フィルムブックを持ってなかったので その代替品

フィルムブックは神田古本街に行けば入手可

REGGIANE RE2000 AVIOLIRI SPECIAL6

RE2000を作るなら 必要な資料

翼型、機体内部等の各デティールはこれを参考にした。

Die Deutsche Luftfahrt Flugmotoren und Strahltriebwerke

独逸のエンジンの資料 エンジン寸法はこれを参考にした。

FAHRWERKE Flugzeug

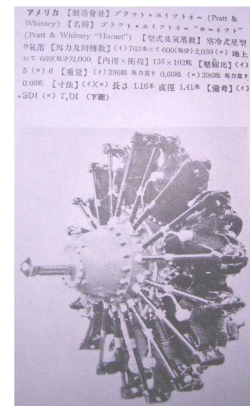
降着装置の資料 メカふえちにはたまらん資料

追記:

実機があったらという 冗談で イタリア機風に迷彩塗装してみました。
エンジンは アルファロメオの 126RC34という9気筒エンジンを仮定して
でっちあげ。

完成してからしてから資料を調べると この9気筒エンジンは イギリスの
ペガサスエンジンのライセンス品とのこと。

すると 文中にもあるように 排気は 前方に出されるので 防弾リングの様な
モールドは 集合排気管となります。(参照:ソードフィッシュ等)



P&W ホーネット



アルファロメオ126 RC34